

令和7年第9回 千葉市選挙管理委員会定例会会議録

1 日 時	令和7年9月18日(木) 午前10時00分～午前10時48分					
2 場 所	千葉市役所 10階 選挙管理委員会室					
3 出 席 委 員	委員長	大野 雄子	職務代理者	田部井 宏明		
	委員	橘 高俊	委員	川村 道子		
4 出 席 書 記	事務局長	清水 公嘉	次長	中野 廣正	次長補佐	熊本 和広
	主査	君塚 利明	主査	加藤 啓樹	主事	関根 右京
5 議 題	報告第56号	地方自治法等の規定に基づく直接請求に必要な人数について(9月1日定時登録)				
	報告第57号	千葉県知事選挙・千葉市長選挙市民意識調査について				
	報告第58号	川崎市議会議員川崎区選挙区補欠選挙の執行について				
	報告第59号	福岡市選挙管理委員の異動について				
6 議事の概要	<p>(1)議題</p> <p>報告第56号 地方自治法等の規定に基づく直接請求に必要な人数について(9月1日定時登録) (報告第56号について、報告があり承認された。)</p> <p>報告第57号 千葉県知事選挙・千葉市長選挙市民意識調査について (報告第57号について、報告があり承認された。)</p> <p>報告第58号 川崎市議会議員川崎区選挙区補欠選挙の執行について (報告第58号について、報告があり承認された。)</p> <p>報告第59号 福岡市選挙管理委員の異動について (報告第59号について、説明があり承認された。)</p> <p>(2)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回委員会について <p>次の委員会の開会日は、10月21日(火)午後2時00分から開会することで決定した。</p>					

7 会議経過(要約)

報告第57号について

田部井委員 今後の選挙について、調査結果を基に具体的に変更する施策等はあるか。

事務局 現時点では、変更する施策等はない。引き続き検討する。

田部井委員 投票時間の短縮に関する設問について、「現状の投票時間のままでよい」と「短縮すべきではない」という選択肢は同様に思えるが、「短縮すべきではない」の方がより積極的に現状維持を望む回答だと考える。その中で特に投票率の低い20代の方の多くが「短縮すべきではない」と回答していることから、投票時間の短縮に関する反対意見が強いと感じた。

橋委員 アンケートの回答率について、最低でも50%を超えるように、対策を講じてほしい。

アンケート調査はいつから実施しているのか。

事務局 令和5年統一地方選挙から実施している。

橋委員 今回の調査結果と令和5年統一地方選挙の調査結果とを比較して、変わったところはあるか。

事務局 投票時間の短縮に関する設問について、「短縮すべき」という回答した割合が倍近く増加した。しかし、「期日前投票所が充実すれば」という回答も多く、検討が必要であると考えている。

大野委員長 投票時間の短縮について、選挙事務従事者の意見も聞く必要があるのではないかと感じた。

また、選挙啓発について、よりSNSの重要性が増したと感じた。

SNSを活用した啓発について、ターゲットを絞って実施した啓発はあるか。

事務局 知事市長選挙で実施したWEB広告では、エリア指定や年代指定(18歳以上)を行った。

田部井委員 投票時間の短縮に関する設問について、設問の中に投票時間削減の効果として

「経費が削減できる(短縮1時間当たり約450万円)」と記載されているが、

選挙全体でかかる費用のうち、いくら削減できるかを記載した方が分かりやすいと感じた。

選挙1回あたりにかかる千葉市全体の費用はいくらか。

事務局 選挙の種類にもよるが、知事市長選挙では4億円程度である。

橋委員 450万円の内訳を教えてほしい。

事務局 主に投開票事務にかかる人件費である。